

健康マネジメント協会 会員 各位

このメールは、国土交通省の貸切バスに関する公開情報を元に作成し、  
会員の皆様に配信しています。交通事故防止の取り組みにご活用ください。

\*\*\*\*\*

★国交省公開情報(H29.9.8 第 417 号より)

●徳島県の大型トラックと貸切バスの追突事故を受けて

8月25日、徳島県で大型トラックが故障により停車していた貸切バスに  
追突し、バスの運転者と乗客の2名が死亡、乗客14名が負傷する重大事故が  
発生しました。

事故の原因については現在調査中ですが、このような事故が起きないように  
するため、点呼時等に運転者への注意喚起をお願いします。

1. 高速道路運転時は漫然運転等に気をつける

高速道路は運転が単調で、長時間運転したときなどに前方への注意が続き、  
漫然運転や居眠り運転、脇見運転等の状態になりやすくなります。

さらに、高速ではスピードが出ているので、その結果追突事故を起こした  
場合には、被害が甚大になる可能性が高くなります。

運転者は、睡眠不足や長時間の連続運転等による疲労で漫然運転等を  
起こすことのないよう、普段から体調管理に努め、早目の休憩を取るよう  
心掛けましょう。

2. 高速道路で路肩に駐車する際の手順

1のように、高速道路では追突の危険が高く被害も甚大になる恐れが  
あるので、故障などでやむを得ず高速道路の路肩等に駐車する場合は、  
確実に次の手順を実施しましょう。

- ①できるだけ十分な幅員のある路肩の端に寄せて停車させ、ハザードランプを点滅させる。
- ②後続車に知らせるための停止表示器材や発炎筒を故障車両の後方の十分離れた位置に設置する。(普段から停止表示器材は取り出しやすい場所に置いておく。)
- ③原則、乗客をガードレールの外側(追突されたときに巻き込まれないよう、車両の後方)など、車外の安全な場所に避難させる。降車の際は車両が通行しない側から行う(助手席ドア、乗降ドアなどから)。
- ④携帯電話で110番・道路緊急ダイヤル(#9910)に、または高速道路にある非常電話により状況を知らせ、対応を相談、依頼する。